

J A 新潟みらい

これまでの実践内容と成果

1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

1. 基幹園芸品目拡大（チャレンジ！プラス1）運動

園芸品目を取り入れた複合経営化に向け、5品目において面積拡大に取り組みました。

5品目合計面積 H28年度 98.6ha ⇒ H29年度 107.3ha (8.7ha) ↑

※5品目：にんにく（白根地区）、さといも（五泉地区）、にんにく（亀田・横越地区）、
わらび（阿賀地区）、かんしょ（新潟西地区）

2. 大型直売所「ファーマーズ・マーケット いっぺこ〜と」での直販強化

出荷者数を増やし、販売高増加に取り組みました。

出荷者数 H28年度末 489名 ⇒ H29年度末 540名 (51名) ↑

販売高 H28年度 6.1億円 ⇒ H29年度 7.7億円 (1.6億円) ↑

3. 生産コスト低減による農家所得の増大

①農薬の入札制度を利用して供給価格の低減を図りました。

24品目で実施し、17品目において供給単価平均2%の値下げを実現しました。 ↓

②担い手直送支援対策の利用拡大を図りました。

肥料・農薬全体の供給高に占める担い手直送支援対策供給高割合

H28年度 6.9% ⇒ H29年度 7.3% (0.4%) ↑

③水稻用「県下統一肥料」の取り組みを行い、スケールメリットを価格に反映し、引き下げを図りました。

新潟みらい専用有機一発基肥 3,420円（1袋）

19.6%ダウン ↓

越後の輝き有機 50スーパー元肥 2,750円（1袋）（▲670円）

4. 農業資金ニーズに応える対応

担い手農家や農業法人を中心とした定期訪問活動を通じ、情報提供と金融相談機能に対応し、資金ニーズの把握と資金提供に取り組みました。

担い手向け農業資金（長期）新規実行額

H28年度 7.2億円 ⇒ H29年度 7.6億円 (0.4億円) ↑

うち主要農業資金（長期4資金）新規実行額

H28年度 5.5億円 ⇒ H29年度 6.7億円 (1.2億円) ↑

※長期4資金：農業近代化資金、アグリマイティー資金（証書）、担い手支援資金（アグリ

1）、農機具ローン

訪問件数 H28年度 160件 ⇒ H29年度 173件 (13件) ↑

2. 地域の活性化に向けた取り組み

1. 食農食育活動の実施

あぐりスクールを実施し、次世代を担う子ども達に「食」の大切さや「地産地消」への理解を促しました。

あぐりスクール参加児童数 H28年度 20人 ⇒ H29年度 22人(2人) ↑

▼あぐりスクール：横越地区の牛舎見学



▼あぐりスクール：白根地区の梨収穫体験



2. 地域貢献活動の実施

地域の清掃活動など、ボランティア活動を実施しました。(H29年度より実施)



▲役職員による直売所施設周辺の清掃活動

ふれあい感謝祭：千人鍋の振舞い(しろね南支店) ▶

3. 支店協同活動実施による地域との交流

食と農と地域を結び、地域のくらしに貢献を果たすとともにJA活動への参画や、組合員と地域住民の絆づくりに向け、全支店で支店協同活動を実践しました。



自己改革完遂に向けた取り組み(抜粋)

常勤役員等が担い手農家や生産法人等に出向いて、意見交換を通じて情勢の変化や課題に対する的確に対応できるような取り組みを進めるとともに、TAC・営農指導員を中心に新規産地作りに向け園芸振興プランの提案や既存産地の生産拡大を図ります。

1. 魅力ある産地づくりへの支援

当JAならではの産地づくりをすすめるため、土づくり肥料7品目(全地区合計)につき、支援を行います。

2. 安全・安心な農畜産物供給への対策

消費者に「安全・安心」な農畜産物を供給するため、残留農薬検査の実施や生産履歴読み取りシステム、生産日誌の作成を行います。

3. 地産地消への支援

「食」と「農」を結び、次世代を担う子供たちに地域の食文化への理解を深めるとともに、地産地消調理実習を実施します。

